

カーボン排出量可視化・削減支援事業の紹介

環境・情報技術部門

工業技術総合センター（環境・情報技術部門：松本市）では、本県が推進する温室効果ガスの二酸化炭素正味排出量を2010年比で2050年までに実質ゼロを目指す「長野県ゼロカーボン戦略」における産業部門の取り組みを支援しています。本事業では、サプライチェーンで選ばれる長野県産業の構築を目指し、カーボン排出量の「可視化」、「削減」及び「普及啓発」による企業支援を行っているのでご紹介します。

■ 事業概要

本県では、2019年12月に「気候非常事態宣言」を行い、温室効果ガスである二酸化炭素正味排出量（以下、「カーボン排出量」）を2010年比で2030年までに6割減、2050年までに実質ゼロを表明し、“社会変革、経済発展とともに実現する持続可能な脱炭素社会づくり”を目指して「長野県ゼロカーボン戦略」を推進しています。

産業部門では、グリーン社会における新しい長野県の産業像として、サプライチェーンで選ばれる長野県産業の構築を目指しており、目標を達成するためには、製造業における企業が自らカーボン排出量を算定し、削減を試みる事が求められています。

本事業の「カーボン排出量可視化・削減支援事業」は、今年（令和4年）度から新たにスタートした事業で、カーボン排出量の「可視化支援」、「削減支援」及び「普及啓発」の事業を実施し、企業のカーボン排出量の可視化・削減の取り組みを支援しています（図1）。

■ 可視化支援

「可視化支援」では、カーボン排出量の算定方法として、サプライチェーン排出量算定のScope手法（図2）を用いた算定支援を行っています。

「算定説明会」を年間に複数回開催し、Scope手法の概要や算定方法を解説しています。

また、「個別相談」を実施し、企業が自社でScope算定に取り組む際の課題や疑問点などについて、外部専門家と企業が個別の相談により解決する支援を行っています。

■ 削減支援

「削減支援」では、各企業において専門家を交えた検討会（標準3回）、工場現場の調査や工場エネルギーの測定（改善前後）等を行い、省エネルギー、LCA、MFCA、環境効率等の手法を用いて、カーボン排出量の削減を支援しています（図3）。

検討会では、対象設備の調査、削減方法の検討・提案、削減対策の実施、効果の検証を行います。

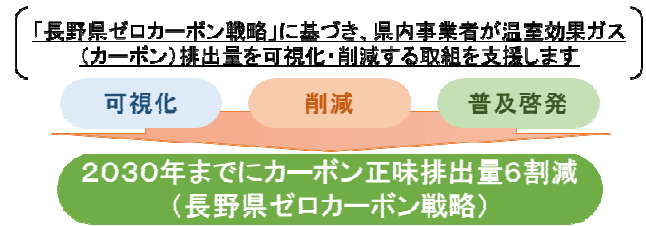


図1 カーボン排出量可視化・削減支援事業

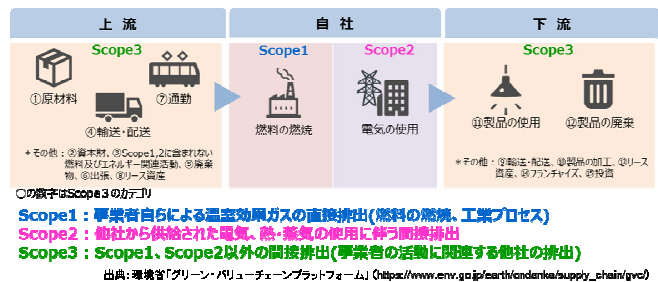


図2 サプライチェーン排出量算定 (Scope)

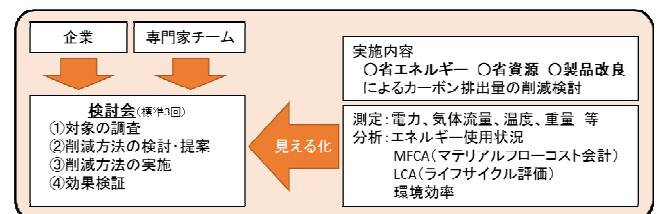


図3 カーボン排出量の削減支援

■ 普及啓発

「普及啓発」では、実習を重視した「LCA実践セミナー」などを実施しています。

また、本事業における「可視化支援」及び「削減支援」の取り組みの成果について、3月上旬に「成果発表会」を開催し公表する予定です。

■ おわりに

本事業では、可視化算定の「個別相談」及び「削減支援」の参加希望企業を随時募集しています。

カーボン排出量の可視化方法や省エネ活動をご検討の方は、お気軽にご相談ください。

長野県工業技術総合センター
環境・情報技術部門 環境技術部 石坂和明
TEL:0263-25-0997 FAX:0263-26-5350
E-Mail: kankyojoho@pref.nagano.lg.jp